

少女小説なめんな！

2021年7月

眞鍋由比

ことしの読書運動は「希望」がテーマ。
少し変化球ですが『挑発する少女小説』斎藤美奈子著 河出新書2021
をご紹介します。

児童文学の中の「家庭小説」。少女が活躍する、でも魔法はでてこないリアリズム小説。19世紀後半から20世紀前半にかけて書かれたものを取り上げています。

そもそもは良妻賢母を育成するためのこれらの小説は、しかし面白くなければ子どもたちに選ばれてロングセラーになりません。翻訳モノの人気少女小説には特徴があります。主人公がおてんばで、その多くがみなしご、友情が恋愛を凌駕する世界で、少女期からの「卒業」が仕込まれている。

鋭い文芸批評で有名な斎藤さんが斬る今回の小説は『小公女』『若草物語』『ハイジ』『赤毛のアン』『あしながおじさん』『秘密の花園』『大草原の小さな家』シリーズ、『ふたりのロッテ』『長くつ下のピッピ』です。みなさんはどれが好きですか？全部は読んでいなくても、いくつかは読んでいます。

小公女セーラがどうしても上から目線でしか、ほかの女の子を見られないのか。ハイジが環境に過剰に適応するために病気になってしまった！若草物語のジョーがローリーとくっつかなかったのは当然だった？幼い頃に楽しく読んだ話にこんな背景があったか、読もうと思えばこんなに深い読みができるのかと、目が覚める思いがします。

『長くつ下のピッピ』のエンディングがどうして、なんだかさみしい気分になるのか。あんなに強くて元気でなんでもできる、大好きなピッピ...その答えが書かれています。

どうしてこれが「希望」なのかというと、人間は食べたものでできている you are what you eat. とよくいいます。でも読んだものでもできていると思うんです。何を読んでどう考えてきたか、があなたを作っている。自分が読んできたものがどんなものだったのか、成長した今、知ってほしい。無意識にでも培ってきたものがある。本の中の女の子がいろいろな人生で闘ってきたものがあなたの背中を後押ししている。あなたは独りじゃない。

この夏、この本を読んでから、もういちど好きだった「少女小説」を読んでみませんか？きっといろいろな再発見があるはずです。

また読書運動の「希望」として、DVDも推奨します。

スクリーンの8月号は名セリフ特集でした。

希望はいいものだ。多分最高のものだ。いいものは決して滅びない

That hope is a good thing, maybe the best of things ,and no good thing ever dies.

【ショーシャンクの空に】 アンディ （ティム・ロビンズ）

負け犬とは負けることを恐れて挑戦しない奴のことを言うんだ

A real loser is someone who's so afraid of not winning he doesn't every try.

【リトル・ミス・サンシャイン】 エドウィンおじいちゃん（アラン・アーキン）

この2作品も借りられますからぜひ借りてね。まだまだコロナ禍で油断はできませんが、楽しい夏休みを過ごしてください。